

平成十九年十月十九日受領
答弁第一〇一〇一号

内閣衆質一六八第一〇一号

平成十九年十月十九日

内閣総理大臣 福田 康夫

衆議院議長 河野 洋平 殿

衆議院議員鈴木宗男君提出一九七二年の沖縄返還における日米「核密約」を示す米公文書に関する質問に
対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出一九七二年の沖縄返還における日米「核密約」を示す米公文書に関する質問に対する答弁書

一、二及び五について

御指摘の記事については承知しているが、日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約（昭和三十五年条約第六号。以下「日米安保条約」という。）の下での核兵器の持込みに関する事前協議制度についての日米間の合意は、日米安保条約第六条の実施に関する交換公文及びいわゆる藤山・マツカ―サー口頭了解がすべてであり、秘密であると否とを問わずこの他に何らかの取決めがあるという事実はない。

三及び四について

外務省として、御指摘の記事における「コメント」の具体的内容を確認することができないため、お答えすることは困難である。